

適切な無形資産の評価に資する 評価実務の確認と事例分析

—無形資産の評価を左右させるポイントや注意点について、豊富な経験を持つ実務家が解説—

- 日 時● 2016年 5月 23日(月) 13:00~17:00
- 会 場● 東京・麹町『企業研究会セミナールーム』 TEL:03-5215-3512
- 講 師● 南青山FAS株式会社

代表公認会計士・税理士 仙石 実氏

◆開催にあたって

昨今においてM&Aや企業再編等を行う場合、無形資産の評価は事業戦略を決める為の重大な指標になっています。しかし「無形」という特徴は、適切な評価をさらに困難にしており、もし誤った認識のもとで評価を行った場合には、事業戦略に大きな影響を及ぼします。実務担当者は、評価を行う際の手法はもちろん、無形資産の評価を左右させるポイントや、実務者が陥りがちな失敗等についても意識しておく必要があります。

そこで本講座では、無形資産の評価を多く手掛ける実務家をお招きし、M&A、企業再編における無形資産の重要性をはじめとする諸制度について確認します。そして無形資産の評価の進め方、識別と分類、評価手法を解説した上で、近時事例の分析、そして無形資産評価のケーススタディを行うことで実務的な理解を深めていきます。

※本講座では電卓を使用いたします。ご持参のほどよろしくお願い申し上げます。

《詳細は裏面をご覧ください》

●受講料● 1名(税・資料代含む)

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

- 申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAXいただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- 申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
- よくあるご質問(FAQ)については当会ホームページでご確認いただけます。
〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕
- お申込み後のキャンセルは原則としてお受けいたしかねますので、お申込者をご出席できない場合には、代理の方のご出席をお願い申し上げます。
- 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。

一般社団法人企業研究会

担当：福田 E-mail: fukuda@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3512 FAX 03-5215-0951

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

*当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からもお申込みいただけます。

161300-0106(※)		2016.5.23	
申込書 適切な無形資産の評価に資する評価実務の確認と事例分析			
会社名	フリガナ		
住所	〒		
TEL		FAX	
ご氏名	フリガナ	所属 役職	
E-mail			
ご氏名	フリガナ	所属 役職	
E-mail			

*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

適切な無形資産の評価に資する評価実務の確認と事例分析

講師：南青山 F A S 株式会社 代表公認会計士・税理士 仙石 実氏

【経歴】2002年 監査法人トーマツ（現 有限責任監査法人トーマツ）に入所。国内第2番目となる国際財務報告基準（IFRS）任意適用会社の監査及び助言指導業務、東証一部上場企業等の各種法定監査業務、株式公開支援業務、外部向け研修サービスに従事。
2011年 コンサルティングファームにパートナーとして参画。
事業会社、銀行等の組織再編における会計・税務アドバイザー業務に従事。
2013年 南青山 FAS 株式会社、南青山税理士法人の代表に就任。現在は、上場・非上場を問わず多数の取引先の会計税務支援サービスのみならず、M&A におけるバリュエーション業務、デューデリジェンス業務に従事している。知的財産教育協会や各種実務セミナーの講師としても活躍中であり、豊富な実務経験を活かした実践的でわかりやすい講義には定評がある。

【著書】「(立場別・ステージ別) ストック・オプションの活用と実務 (第2版)」(共著、中央経済社)、
「旬刊経理情報 No. 1293/IFRS 適用が与える税実務への影響～有形固定資産の減価償却と無形資産の償却」(中央経済社) など

●プログラム●

13:00

1. はじめに
 - ◇ M&A、企業再編等における無形資産の重要性
2. 無形資産の現行制度(日本基準とIFRS)の概要
3. M&A、企業再編等による無形資産の取得方法
4. 無形資産と税法・会社法
5. 無形資産の評価の進め方
 - ◇ パーチェスプライスアロケーション(PPA)
6. 無形資産の識別と分類
7. 無形資産の評価手法
 - ◇ 超過収益法
 - ◇ ロイヤリティ免除法
 - ◇ 利益差分法
8. 無形資産の近時の事例分析
9. 無形資産評価のケーススタディ
10. おわりに

休憩

17:00

※講師とご同業の方は受講をお受けしかねる場合がございます。予めご了承ください。
※本講座では電卓を使用いたします。ご持参のほどよろしくお願い申し上げます。